第 175 号

(1)

を向けますと、

虐待など、

0期生220名

的に取り組み、貴重 ら、今日まで磨いてきまし間どうしが励ましあいなが 星での学生生活を通じて、 ひとりに、おめでとうと由 五十期生の皆さん、ご卒業 第50回洛星高等学校卒業 た。いろいろなことに 心から感謝申し上げます。 式を挙行できますことを、 使を始め、ご来賓の方々、 保 かけがえのない財産を得る を積み上げていくこと 伊様からいただい 園を代表して、 皆さん一人 おめでとうございます。 **愛者の皆様のご臨席のもと、** 銀色教区長、大塚喜直司教 上げます。皆さんは、洛 ら、新しい社会 とができまし 人ひとりの努力 今日とこに、カトリック京 本日、洛星という学 へと単 た能力を、 また仲

りません。戦争・暴力、こ 件の報道が絶えることがあ と不安に震えている方々が は「平和を築く人にな 送りたいと思います。 れらを起こすのは人間です。 **大勢おられます。国内に目** 火を逃れ難民となり、寒さ い命が奪われています。 **争や紛争が起き、大勢の尊** ながら、今も世界各地で戦 シの冒頭の言葉です。残念 時に訴えられた平和メッセー これは、前の教皇ヨハネ・ す。戦争は人間の仕業です」 ください」という言葉 ていく五十期生220名の ハウロ2世が広島を訪れた 口出にあたり、次の言葉を 介間の心です。 私は折に触 戦争は人間の命の破壊 痛ましい事 いじめ、自 界を築くためには、個人レ界を築くためには、個人レ 見 住居など、生きていく上で 中心とした資源の奪い合い たまま、いくら「仲良くし こういった不平等を放置し 現状が存在しているのです。 で公平に分配されていない 欠かせない基本的なものま 地域は発展から除外されて エネルギー を行うようになった結果、 新興諸国が活発な工業生産 が存在して 根底に富の不平等や石油を り組む人なのだと思います。 尽くし、思いを尽くして取 とは、こういった難しい問題 価格が上昇し かりです。。平和を築く人」 れらは解決が難しい課題ば ことはできないのです。こ ましょう」と微笑みかけて います。このためエネルギー い起こしてください。 まっています。食糧や水、 洛星で過ごした日々を思 エや一拳の多くは、 真の平和を実現させる 心を尽くし、精神を るのでは不十分で 需要が増大して ます。近年、 一部の国や

れて、「人の痛みに気づく その人の気持になって行動す 知り、違いを理解した上で、 と言われます。相手のことを の反対は「憎む」ことでは した。人を「愛する」こと ださい」とお話ししてきま ことのできる人になってく 無関心」である 京都市北区小松原南町33

これから皆さんが歩んでい こうした姿勢が、 声といった、はかないもの わざるを得ません。富や名 な問題を抱えた世界だと言 を見てもわかるように、様々 りません。先ほど挙げた例 かっていってください。 アプローチを試みて、解決 となく、根気強く、様々な ても 見つからない難問にぶつかっ の皆さん、容易には答えが を活用することが出来るの ことにつながり、得た知識 疑問を持つことが大切です。 じっくりと考えること、そ 知識の習得の上に立って、 問を修めるには、基礎学力、 してきました。まことの学 てきました。私は繰り返し、 会が豊富な学校生活を送っ な活動を通して、考える機 た、愛に満ちた世界ではあ に向けて全力を注いでぶつ です。洛星で学んだ卒業生 てください」というお話を く世界は、決して完成され して何が正しいことなのか んは、授業や様々な自主的 学が楽しさを知る人になっ 決してあきらめるこ 深く学ぶ Ę キリストが語られた「あな の言葉を送ります。イエス・ マタイによる福音書から次 めに使ってほしいのです。 弱い立場に立たされた人のた 中でも特に、困っている人 く 周りの人 世界中の この世での幸せのためではな

歩んでいってください。

世界中から戦争

やテロをなく

し、平和な世

どうかられからも、思いやり

かな人として

るとが大切です。洛星でキ

リストの教えを学んだ皆さん、



(466) 0777 を見つけ、それを自覚して 自分自身を見つめることが りと開けて世の中を、また やりたいことは何なのか」 ることなく、 そのためには、目をしっか え 何をなずべきなのか」 いう人間なのか」 必要です。 9る人であってください。

行

洛星新聞局

ただいた賜物です。ですか 主である神様から無償でい 素晴らしい才能や能力を持っ す。皆さんは、一人ひとり いた部分がない状態」のこ 位を、自分や自分の家族の 力を、そして得た社会的地 ています。これらは、創造 う社会が平和な社会なので ものを分かち合って助け合 えぐ人がいれば持っている ばそれを介抱し、貧困にあ とです。傷ついた人がいれ 葉の本来の意味は、 聖書で示されている「平和 の場所で、真理を探求する 具実を見抜く目を養い、 生きていってほしいのです。 人であり続けてください。 人ひとりが進む、それぞれ (シャローム)」という言 磨きのばした才能・能 流行に左右され 「自分がどう 「自分の 譲れないところにこだわっ とはないでしょう。 手を私たちは生涯忘れるこ 感と、客席からの大きな拍 励み、本番ではクラスが がら毎日毎日精一杯練習に 時には激しく意見を戦わせ、 祭の合唱コンクールです。 みしめてきました。 ちが心を満たします。 学式のことが、つい最近の もあり、不安でもあった入 することができました。歌 たり、互いを尊重しあいな 心に残っているのは、文化 ものを作り上げる喜びをか 動を通して、皆でひとつの たちはさまざまな行事や活 ように思われます。そして、 えることとなりました。新 たち五十期生は、卒業を迎 すかに感じられる本日、 浮かんでは、泉のように溢 悩み、喜び、切磋琢磨した つになって、最高の演奏を にも、新しい春の気配がか 三年間の思い出が鮮やかに しい生活を前に、楽しみで 、きった後の高揚感・満足 高校三年間の生活で、私

きません。見えないくらい は塩辛くて食べることがで 中に塩が見えているようで 果たします。 しかし料理の のです。腐敗を防ぐ役目も 塩は食べ物に味をつける なくてはならないも

を生かすことができるのが 塩の特徴なのです。自己中 れることによって料理の味 会を少しでもよくするため 心の考えを捨てて、今の社 がちょうどよいのです。 うわけにはいきません。成 なって、輝いてください。 てください。人々の足元を の宝です。ここに五十期生 照らず、まことの明かりと 苦しむ人の、道しるべとなっ さいます。よき友人は人生 きっと神様が応援してくだ 功だけの人生などありえま せん。くじけず、夢を持っ 挑戦し続けてください。 **人生は常に順風満帆とい** 暗闇の中で希望を失い

暗闇に置かれた時には、周 ることができます。洛星を は小さいものです。しかし そくの炎は、明るい所に置 卒業する皆さん、ぜひ世界 かれているだけでは存在感 の役目なのです。ろう 特に弱い立場に置か 威力を発揮す

りを照らし、

今日、卒業証書とともに、

ご卒業、おめでとうござい お感じになっておられるこ ます。入学当時のことを思 い出され、卒業までの日々 保護者の皆様、ご子息の 信じられないほど短く

ただいた洛星の精神を後輩

今度は私達が、教えてい

にありがとう。ざいました。 けぬよう頑張ります。本当

平成十九年二月十日

住校生総代

笹井雄太

へ伝えて行きます。

220名という、大勢の仲

清く張りつめた寒さの中 懐かしく、暖かい気持

「対話」とはそ

動に参加することにな 事やクラブ活動、生徒 もこの洛星で様々な学

後輩たち、そしてすべての

私たちを頼りにしてくれた

頼もしくもあった先輩方、 員の方々、面白くもあり、 配りで支えてくださった職

から感謝申し上げます。 洛星ファミリーの方々に心 協力

在校生の皆さんは、これをはり他者との「対話」と

相互の無理解がひき起こすこ

た先生方、学校生活の様々 いたときに励ましてくださっ が上手くいかず、落胆して

な場面で暖かく細やかな気

ります。民族・国系間の が奪われていることが よって、日々多くの人々

族、やろうとしていること

ださった父や母、そして家 を見守り、生活を支えてく

ダンなどで続く武力衝

ぐテロや、パレスチナ、

日までずっと私たちの成長

最後になりましたが、

ヨーロッパや中東での

また、クリスマスタブロー 特に、 支え合っていくことはできがなければ私たちは仲間と が「対話」なのだと思いま が見え、その使命を積極的 なかったでしょう。「対話

彗

かることもあるはずです。

り、先生方と意見が食 を譲れず同級生と衝突 ことに重圧を感じたり、 がうまくいくとは限り 思います。けれども、

ったりなど、壁にぶつ

くとをこに決意します。

ちに、平和の礎を築いてい

さを忘れず、対話と協力のう

んだ他者への思いやりの大切

私たちは、この学校で学

し弱気になることはあ

となく、社会を担っていく そしてこの意志を曲げるこ

員として大きく羽ばたい

ていきたいと思います。

本当に、ありがとうござ

支えあい乗り越えてきました。

いました。

を交え、理解しあい 対話」を重ね、互いに せん。私たちはそんな

さんも行き詰まったとき

周りにいる先輩、後輩、

「卒業生の言葉」起草委員

平成十九年二月十日

太田英礼、河野大智,

場で活躍してください。 間がいるとを伝れないでく として、必要とされている くさんいます。卒業生の皆 卒業式は別れの式です。 ださい。 母校落星も、 私たち 世界中で働いています。 星の卒業生は、文字通り、 なた方を待っている人がた 教えを学んだ仲間です。 じここ洛星で、キリストの 運する日でもあります。 かし同時に、卒業生の皆さ あなた方を応援しています **整員も、後輩たちも、** んを、

洛星から世界中に派 「地の塩、世の光」

いところからで恐縮ですが、ご寄贈いただきました。高 とりの人生の上に、神が、恵 **薬記含品として、グランド謝申し上げます。また、卒** どもにおゆだね下さったこ とでしょう。皆様方が、 ます。卒業、おめでとう。 みと祝福を、豊かにお与えく これからのあなた方、一人ひ ありがとうございました。 この場をお借りいたしまし 北東角のミレニアム館前に、 暖かいご協力をたまわりま と、また様々な教育活動に、 さり、大切なご子息を、 校の教育理念にご共鳴くだ ださいますように、お祈り したことに、改めまして感 最後に、空業生の皆さんへ、 厚く御礼甲し上げます。 お祝いの言葉と致し 私

う短い準備期間ながらも、 を担うことの責任を感じま さんの先輩方によって作り 成することができました。 私たちも厳粛な祈りの場を完 お互いに協力し合うことで、 も何度も重ね、十分に理解し 上げられてきた伝統の重み ート間の話し合いを何度 何代にもわたるたく 可欠です。 うな人々と対立せず、 ることになります。そのよ 異なる人々とより多く接す も大切にしなければならな いものだと思うのです。 こそ、私たちがこれから最 し合うには、相互理解が不 れば、私達は自分と立場の 高校を卒業し、社会へ出 そうして、この「対話」

受容して初めて、やるべき事 場を相手に伝えると同時に うことではなく、自己の立 ざまな経験や感動を共有す 索するためにあるもの、これ から始まります。こうして 相手の話を真摯に聞くこと とは、単に持論をぶつけあ る中で、私たちは「他者と かを求めるためのものではな とができるのです。相手に何 実行、つまり「協力」 する 互いに他者を自らのうちに の対話」の重要性を知るよ このように、仲間とさま 自分に何ができるかを穏 や衝突が絶えません。ひとた 考えるようになったのです。 の良さや自分の欠点を認め 狭な己の心でした。 日々でした。それは、決して真の「対話」に向けた前進の となるものであり、他者と うした相互理解のきっかけ めない」、私たちは、そう 合わなければ、何の進歩も望 その度に気づいたのは、 こともありました。しかし、 通ぞうとし、仲間と衝突する の協力のために努力すべき ていく社会では、未だに対立 たもすいものではなく ことなのです。 に理解を示そうとしない偏 して互いに自分の意見を押し 私たちがこれから旅立っ 私たち格星での一年間は、

なことにもひたむきに取り めとする学校行事で、小さ た日常生活や、文化祭 のメッセージです。 スマスタブローをはし 達は、部活動、 めでとうございます。 十期のみなさん、ご卒 後輩の私達を引っ 勉強と

び世界に目を向けてみます

めるようにして下さい。 生を方との「対話」

が、私たちからみなさ

平山寛

総代 清川博貴

竹田求志,松矢将太郎,

そして活躍される先輩 お陰でその醍醐味を知 に学校行事では、先輩 姿を見てきました。

うな頼れる先輩になろうと を目にしっかりと焼き付け 楽しむかということの手本一 いう目標を持つとともに ることが出来ました。そし 洛星での生活をいかた その先輩方に劣らぬよ 何事も恐れることなく突き 進んでいって下さい。先輩 もありません。現状を無条 化により、不安になること 星での貴重な経験を糧に、 変化のないところには成長 もあると思います。しかし、 | 先輩方には多くの変化が訪 私達には勿論ですが、特に ありません。ですから、 作に肯定し、かつ執着して られ、環境が変わることで、 方の、活躍を期待しています。 いれば、今以上に進歩する ものが生み出されることは ことは望めず、倦怠以外の そして私達も先輩方に負 先輩方が卒業の日を迎え まき投げってスゲー

6年間とても楽しかったで

来年は努力で解決できない

楽しかったです。

受験は夏休みが勝負です。

ものはない

藤井愛一郎

6年間、早かった……。

わが洛星生活に一片の悔い

トゥーDMC!

トゥーDMC!

涉

と、 何事もあせらずに取り組み 松本 俊樹

NRB!!

充実した六年間でした

小林 太朗

小石

何も思いうかびませんでした。 ハ木 龍 ハ木 龍

電車に乗るならおけいはん

蟻蟻蟻蟻蟻蟻蟻、

た。

恭平

あれ?

平山宏次郎

けよう。

栗原悠太郎 ムに気をつ

オンラインゲー

さ、さみしくなんてないん

の必要条件

ノーコメント。

光貴

余裕つしよ。

3年間よくがんばった、と

踏んだ矢印数知れず。 だからね!

つらい……。

チャレキン&ソフトニ連盟

六年間心の底から楽しめま

やっぱり親和はつよかった。

波多野雅彦

サッカー部、 ありがとう

そして剣道部

暖化(小野作)

篠本

たいと思う

りました。

今、思うと洛星でよかった ないと思う 小林 雄太

洛星生活やりたい事だけ

洋平

六年間有難うございました

速なれ。

談。中、家庭教師します。

決意は遅くとも、

浜崎正太郎

卒業できて良かったー!

六年間の充実に感謝

今思うと意外と楽しいる

った。 水野 貴志 水野 貴志

感じた。 矢田 寛人

割と楽しい6年間だったよ

敵のスタンド攻撃だツツツ

間だった。

青天の霹靂

色々な偶然に感謝したい。

れるキャラ

イジるキャラより

仲田

もうヤダ。

スモークチーズはあるかいしかった。 日野田昂大

高3が一番充実していて楽

ぐれれ

哲人

若いというのはいいことだ

뚇

六年間ありがとうございま

に変えろ

つまらんモノを面白いモノ

後悔先に立たず。岩永

新であります

文系にしとけばよかった… てあります 岸上 大悟 T胡君とH田君に後は任せ た 川副 大輔あっという間の3年間でし

> によろーん。 自分自身

ムヒはあるか

いっした

自分の可能性を決めるのは、

| つた。パツ. _ 河野. 大智

88 289

48

ざいました

六年間本当にありがとうご

た。三年間、

お世話になりまし

皮むけた男になります!

偨

能米

洛星に来て良かった。

それが、しるしであると言... 小林 啓洋

さっき食べたでしょ、

まあええか、 一皮くらいムケたいです その一言であ 青山 晃大

受かりたいです。ほんとに。

松本昌人

高校からでしたが、三年間ncipe 政春庄太朗

む。 **谷口 新**楽しくない時も笑って楽し

私は仏教徒です。満田 過信は最大の敵、自信は最三野・拓也 さっき食べたでしょ。 無事に六ヶ年皆動できそう 国立目指して頑張れ、サッ南 和志 大の武器 中村亮太郎

ええよ

古谷

义化祭のパート員になれば

OB戦で会いましょう

れまでありがとうござい 花畑 裕也

勉強よりも学校生活を大切 岡部 警 小野寺豪紫 イジら 康司 生涯に一片の悔いなし繁田 六年間よくかよい続けた。 冷水 良縁 6年は意外と短かった。 もいいか 沢田 晃弘ニートかニードかどっちで 57 良輔

髙田 辰治

天 オレはすんなり卒業できまして下さい 山田 義史 今しか出来ない事を大切に ま 京都競馬場で会おうや 弓道展パ照明茶宗研の後輩 お世話になりました。 狢星でよかったと思います。 N o p a i なあ青木 下ネタ無しはキツイやろ? した (笑) g a i n 我の上に人を造らず。安田・売品 こんなもんやろ。 n ! N o 内田 渡辺 津田 戸口田淳平 山田輸

欲しかった 学らんに竜の刺繍を入れて 昼休みバスケ同好会は不減 仮の姿がまた真実の姿なの蝦原・佑来 ラッパーでメジャーデビュ 六年間みじかかったです。 一瀬 博 かもね。

た。 浅岡 卓也 大年間ずっと睡眠不足でし しかった 藤本 翔洛星での6年間は本当に楽 六年間あっという間でした。 ー!! 土井 康佑

教師です。 藤田先生は日本最高の英語 組

新・仮・旧校舎を全部制覇句 今井 達昌 輸にと 是に認む 辞星之 6年間長すぎた 洛星生活本当に楽しかった。 正輝

った。 増山 慧 己の信ずる道を貫き通せ! っこだった 三好 大六年間、空想と現実の鬼ご いい友達に巡り会えて良かだった。 駒井清太郎 ったです。 良くも悪くも変わった学校 受験生易老学難成 益田 格谷 雅德

にできない うれしくてうれ 年間でした 諸橋 勝尊親の期待を裏切り続けた六

んと。 辻 信弥した。 続く 種子尾 潤

2500

組

た。 続く 種子尾 潤目一杯楽しんだ6年間でし

なんもない人生にしないよ

たいと思う 竹内 健人自分の夢をとことん追求し

うに頑張る

れす。梅澤紫の三年間、ぷらいす

間楽しく過ごせました。

反思考停止で在りたい。

将星バドミントン部は僕の ・ 野村 知弘 ・ 野本 一樹 誇りです。 ラグビー続けてよかった。 学びて思わざれば則ち罔し。 世界が平和になりますよう 地球の医者になりたい。 小川聡一朗 中務真志

学生生活をどこかで続けま紙一重。 大中 ギス 出願における強気と無謀は - 坂口 弘晃 岡村貞之介

意外に楽しかったかも!

あたあっ

広瀬 和紀

潤哉

という間の三年間でし

がんばらなきゃ。 廣田 晋也

野球。

りがとう。

かけがえのない6年間をあ

あっという間の三年間でし

鸁

三生

間楽しかったです。

実明

間、平和な学校生活だ藤田 純也

禁酒、禁煙、禁欲!!

悠太

った。 福井 航 たのしかった、みんなあり だとう。 五味川翔太 がとう。 五味川翔太 平山 寛 平山 寛

お相撲さんになって活躍し センターで同じ名の主人公 死ぬ気でやれ。 だったのに もう少し背が高くなる予定 明日から本気だします。 洛星よ私は帰ってくる!! つかへん 森川聡一郎ケベックとケルブの区別が に出会った。 なくそー! 死にはせん。 中崎 暢也 野々口直宏 中野浩太郎

洛クラブも文化祭もタブロー

も楽しかった

圭晃

すばらしい思い出をありが都に。 稲垣 範彦

王政復古!京都をもう一度

やめろよ!目覚めんだろ!

禱さんありがとう。

ですかね?

字見ん は、

桜の下にて、

数

*

組

高2の夏までにしっかり遊 る。 石川 大基別れの数だけ出会いは増え

石川 大基

んでおこう!

金山 賢治

なるようになるんじゃない

洛星に入れてよかった

とう。

博之

ありがとう

澤村 隆之

6年間本当に楽しかった。

これからも人生。

玉井

たです。

洛星に入って本当に良かっ

先を見通して行動したかっ

資源は有限英知は無限

高校から勉強すれば、

まだ

んだよ!

おれはきっと大器晩成型な

もうちょっとハシャギたか田村が都

楽しい3年間でした。

った

田中

3年間ありがとうございま

マイペースを貫こう

人生これからが勝負じや!

全いつでも全力全開、

天野永一朗

あと少し、

もうすぐ行ける

皆さんトウキョウに行きま

りました。 増田先生、

大変お世話にな

富士山のような男になる 田中 岩

崇輔

リ太郎!!

濱田

結果が全てや!とっとこそ

洛星の6年、 間に合う!!

短かかったわ

北庄司

よ予備校に

った。 川田 玲央 岩崎 登

サロ

マ湖

の必要条件 **立入 啓浩** 水泳を休まないは合格する 杉山 雅 フロンガス減らし防ごう温 洛星に来てよかったと思い 日の八分の一通学時間は必要条件・立入を浩 あの空に。 小野龍太郎 年でした 部活に打ちこんだ楽しい六 山敷 亮 楽しかったです 早く受験から解放されたい。

がんばれ

伝説。 サロ

になりたい。

入

カ

四、生田 健蔵コマ湖サイクリング継続コマ湖サイクリング継続

半 雄規 かった。 一ス格里で

がんばる もはや戦後ではない 見保 充則 六年間、楽しかった。 松井祐次郎 終わり良ければ全て良し、小島 慧一 6年間お世話になりました。三井 正義 た。 森本 祐貴での思い出は多く楽し水野 聖也 五次試験は要注意なの へ 丸岡 和也 の過ごした時間プライ **蕭
朋** 黒木翔維斗 ¥ ¥

地道にやるのが結局は一番 山本雄一郎 ありがとう。 しかった!! 山本 龍宜 知らんがな。 山本 陽平

大年過ぎるのはやかった。 大年過ぎるのはやかった。 ました。 月田 和人 一ました。 徳岡 慎也 でした。 徳岡 慎也 6年間はあっというまに終かったです 上村 紘也 まあ、色々あったけど楽し 短かった様な浴星6年間

洛星人はボタンが命!必ず しい。 高橋 慶祐 チェック!

楽しかったです。

膏

洛星の生徒であったことを

三年1、 延平 これと言った思いもない3 西村 拓朗 もっと部活したかった 野島 知貴 がった。 野島 知貴 色々と疲れました

長いようで短い6年間でし向井 弘記 洛星では勉強以外の事に力 おつかれ

悔いのない三年間でしたい……。 佐藤久仁

い……。 佐藤久仁哉巻き込まれた方、御免なさ

ジャンボ駆け抜けます!!

だと思います。

即にいつもイメージされる

私には「卒業」という季

できる形にたどり着くもの 歩もうとも必ず自分の納得 本気で行くならどんな道を

頭の中に鮮明に描ける風景 たことのある風景ではなく、 情景があります。実際に見 せるのに、三年もの時間が

加れていたとは夢のようで

卒業の日、たくさんの

とのように鮮やかに思い出

に感覚は、まるで昨日のこ めの期待と不安の入り交じっ

「樹木」という最も短い作「観察」という小編の中の

だつて私たちは雪中

卒業おめでとうございます。 いらっしゃるころでしょう 新生活への準備を始めて 私も少しずつ気持ちの

と押せば簡単に押しのけら だが、見よ、それさえも見 そうは行かない。固く大地 ところそれはすべすべと雪 に立つ樹の幹なのだ。見た かけに過ぎないのだ。― に根を張つているのだから。 れそうに見える。ところが、 高安國世譯(訳)カフカ 載っているちょっ

50期の皆さんご卒業おめでとうございます。殆どの方と

もっともっとその能力を花開かせてい

というのがあります。話の大筋はこ

は高2の時から、わずか2年ほどのお付き合いでしたが、 この2年間諸君の様々な能力には驚かされ続けの日々でし

私は中学高校とプロテスタントの学校に通っていました

で聖書の時間に習った話の中に「タラントのたとえ話」

全集5 新潮社」

載っているかのような木。 的にこれは「私たち」なの あまり難しく考えず、直感 ろ考えがあるでしょうが、 比喩については、いろい 子安 克実

これからも、

て欲しいと思います。

ある人が旅に出る際に3人の召使いに、それぞれ5タラント、 タラントずつ預けて行きます。主人が留守の間に5タラント預か それを元手に更に5タラント儲け、2タラント預かった ころが1タラント預かったものは、

れ土のなかに隠しておきます。主人が戻ってきたとき、5タラント預けられ 2タラント預けられた者は、主人に"good and faithful

授業でもふれたことがあるかもしれませんが、タラントというのは当時の

お金の単位で、talentの語源になったものです。この話の意味は、 れ与えられた才能の大きさは違うけれども、その量の如何に拘わらず与え れた才能を最大限活用することが神の意にそうことなのだ、というこ

さらに多くのものを任されますが、1タラント預けられたものは、

ントをそのまま主人に返したところ、"wicked and slothful serva その1タラントも取り上げられてしまいます。天の国とはその

(マタイによる福音書25章14-30節)

ようなところだと聖書には書かれています。

春の香りでふと三年前がよ

整理をしはじめていますが、

みがえり、懐かしい気持ち

立ちどまってしまいます。

り結びついているからです。 だと思うのです。雪の上に 最初に聞いたときには、美 単に押すことなどできませ 軽く押すとつつーっと滑ら けそうで動けない不自由な しい情景の中、軽やかに動 h せることができそうで、簡 実際には地面としっか

ШB

自分自身がイメージされ、 結局私たちは何に繋がれ い気持ちがしたものでし などとなんとなく空

191つ確信していることが

1 ちませんが、少ない経験か

なるような、心に響く言葉

皆さんにとって励ましに

というものを私はあまり持

新に感謝しています。

持ちを与えられていること

さんの成長に感動しました。 ていった姿を見、改めて皆 経験を経て、雄々しく巣立っ

私はこんな晴れ晴れしい気

さえも確実にそうなのでは りました。「それさえも見 ないと感じられるようにな た。けれども今、そのこと ているのだろう」「どんな かけにすぎない」という意 固定概念に自縛しているの

2日れない」ということがあり

いと一番の望みはかなえら の陣をしいて本気でやらな あります。それは、

ましたが、私は大学受験の

目だった時には総てを諦め 時も、教員試験の時も、駄

許そうと思いましたが、逃

す道を切り開いてきました。

れは真実です。そして、

り道のない本気の信念は必

に前進する姿を。

た。苦しくて何度も自分を

捨てようと覚悟していまし

その十年来の夢でさえ

動かないと思いこんでいる 私は軽やかに想像します。 味を少しずつ味わいながら、 田口

であれと心から祈っていま ものが、すーっとなめらか 皆さんが健康で、前途洋々 ありがとうございま 明に焼きついています。 体育祭、タブロー、どの行 2年間は僕にとって毎日が 界史はナンボやってもでき 僕も高校生のときは、 強しているのに、成績はあ していて、「僕は中途半端 出がいっぱいで、記憶に鮮 事もみんなとの楽しい思い ない」とか「国語の点数の た声をよく耳にしました。 いつよりもよくない」といっ い」とか、「あいつより勉 に勉強ができるからしんど **遠足、研修旅行、文化祭、** 楽しく充実したものでした。 この2年間みんなと話を

でとう。みんなと過ごした 五十期のみんな卒業おめ

がわかりました。そして、 りに結果はついてくること と思ってがんばればそれな 分が成長するために必要だ るし、しんどいことでも自 持ちの持ちようで何とかな 自分が毎日楽しく幸せに生

田中 取り方がわからない」

ませんでした。だから、 で悩んでいました。それは ました。いやなことでも気 たがその劣等感は克服でき 偏差値といった「はかり」 系なのに数学が苦手」 分のことが嫌いでした。し があったので仕方なく苦手 と感じていたからでした。 で自分のことをはかってい ていろいろなことを経験し な科目も一所懸命やりまし 教師になりたいという目標 て他人と比べて劣っている してさまざまな遊びを通じ イトやボランティア活動そ 「はかり方」が変わり 大学での部活動やバ など

さい。そして、自分のこと 自分がどのようなことを幸 すが、その経験を生かして、 日を楽しく過ごしています。 ることを大きくはかって毎 たいかを真剣に考えてくだ せに思ってどのように生き なことを経験すると思いま 経験、悪い経験、いろいろ あるけれども幸せだと思え これからみんなは、良い

り」ではかるようにしてい せに生きているかを「はか を楽しめる自分のことが好 までは勉強の妨げになって ます。この「はかり」は自 きになりました。 気がつきました。また、今 きることが大事だというに いた釣りという趣味で人生 今では自分がどれだけ幸 なのおかげだと思っていま

本当にありがとう。

す。もちろんいやなことも 大きくはかることができま 分で目盛りを決められるの な幸せでも自分にとっては 他の人にとっては小さ

出します。 期の皆さんと出会ってから 三年前に、担任として五十 おめでとうございます。 二年間、様々なことを一緒 に作り上げて来たのを思い 五十期の皆さん、ご卒業

た信楽で陶器を作ったこと。 年のとき、遠足で行っ ШЕ

山本繁史 修旅行に行ったこと。 マイ しく感じました。 一年のとき、北海道に研

が一番問題だ」と感想を書 ことには無関心という態度 リティーにいて、その他の 先生からその文化や歴史に しっかりと聴くことができ ついて講演いただきました。 について、大塚教授や萱野 ノリティであるアイヌ民族 自分が当然のごとくマジョ

私はこの話を聞いて以来、自分に与えられたタラントは非常に小さな いと思います。最後になり ができるようになってほし を総合的に「はかる」こと あるけれども、それをしっかりと活用しようと努力を重ね、 の丈に合うもの以上のものを得てきました。諸君は誰一人とっても、 の高校生の頃とは比べ物にならないような素晴らしい才能を持っています。

ましたが、初めての担任で こんなに楽しめたのはみん どうかその力を地中に埋めておくことなく、 てていってください。諸君の活躍していく姿を思いながら、私も負けないよ これからも諸君の後輩を送り出していきたいと思います。

ばと企画したことでした。 しい。そのきっかけになれ き方をしつかりと考えて欲 たこと。「直接今、自分に 現状について講演いただい フリカの子供達のHIVの 記者カメラマンの方に、ア 活の中で、自分の進路や生 書いていた人が多く 何かできれば、」と感想を 無関心ではいるまい。将来 できることはないとしても、 さんもらいました。 肩を組んだりソフトクリー ムを食べている写真をたく

という機運を高めたと思い ます。そして、卒業式。各 での集中力は鳥肌が立つ思 ス合唱のこと。例年よりか 自がしつかりとした声と、 い高校行事を大切にしよう と声を掛け合い、残り少な ないでしつかり頑張ろうな」 は、体育祭や球技大会にお クラスがありました。本番 努力し、意見をぶつけ合わ せながらも結束していった なり早くから練習に取り組 いても学年全体に、「休ま いでした。また、そのこと 三年のとき、文化祭クラ 最高の演奏をしようと

高校生活を終える節目とし ていい式にしようという思 堂々とした態度で式に臨み、 いが見事に発現されていま

と思く ものに これた **美式。ある一定の課程** った。

と思うその原動力に充分な

私

丁寧に時間をかけて仕上げ 場外な存 業体験をしたこと。高校生 わたしの仕事館に行き、職 る人が多く、感心しました。 けたあの暗澹たる日々。人 としてともに苦楽を味わい さに同志というか、皆さん 己にある弱さを孤高と名付 り、そういう意味では、 任をした初めての生徒であ でしょうか?大学時代、 先輩の

先生から

言われた

言 生は印象深く心に残る」と 成長してきた戦友のような は生徒として、私は、教師 **企の距離を測れずに、自** 話ししたことを憶えている 何度か授業の雑談の中でお **ふれている、だからこそ、** 果を、 噛みしめています。 気さえしてきます。そして、 います。皆さんは、私が担 「人は、哀しみに満ちあ 感謝できるのだ」と、 「初めて送り出す卒業

ている」のです。人の息づ る」。皆さんは「生かされ いた人も多くいました。

今もある。誰もが「生きて な人もこれまでの人生があ な世界で、観念で人を掴ま る。これからの人生もある。 怒る。 皆さんも同じ。 どん えないで下さいと言うこと ないで欲しいのは、抽象的 観念的合理的判断も優れて ました。 です。人は笑い、苦しみ、 いる」、そして皆さんは いるでしょう。ただ、 「誰かのおかげで生きて

忘れ

さんの

の成長を見続ける日々

きる。

そう思います。

後になりましたが、皆

ご卒業、おめでとうござ

C

ちかい

私は未だ一度しか卒業証書

て重みのあるものとなる。

しつかりと活用して社会に役立

井戸義人

は生きているのではなく 生きている、人は苦しみ、 ました。でも、ある日、 なのだと思いながら生きて ることを。そうして、自分 づいたのです。人は懸命に も見つからない時間が過ぎ 象世界に触れながらどこか 人から生かされているのだ もがき、それでも生きてい でそれに入り込めない、 いました。哲学や文学の抽 在で、その最たるものが己

みの連続かもしれない。で

は懸命に生きている。

生きることは徒労で、苦し

ける大きな胸と心、そ 感じて下さい。人の心 感じて下さい。 しつい ##の思いを常に感じなが ##

男気を持って下さい。

と、そう感じるようになり 皆さんは、頭脳明晰で、

より楽 ばらり 若者 注ぐ なが でみにしています。 って下さい。そして再び 伸び、やがて大海へと んが、その身を揺すり **个当に楽しい時間でし** たしております。 から皆さんのご活躍を かるとき、お互いがす らしく伸び伸びと生き り滲んでは伸び、滲ん い笑顔で会える日を心 は細い源流かもしれ 本の大河のように、

しながら、これからの人生 でするもの、それらへ
見 んで欲しいと思います。 全当にありがとう。そ 出です。

五十期の皆さ が私にとっても大切な 、将来の目標、生き方、 すぐな思いを大切に 高校生活の中で得た、

自然。私自身、嬉しそうに

のま

して、

緒に見た北海道の

のであると思われる。もち いかもしれないが、卒業生がそういう意味合いが大き ろん、人によってはクラブ 間を代弁するには充分なも ブであれ、学校生活の数年 認である。学業であれクラ 基本的なことだろう。第1 の備品といったもののほう 自分がやってきたことの確 目節目という意味では最も 新年、始業式や終業式など ということである。これは それまでの自分を振り返る には、先にも記したように にも言えることであり、

ある。 るのだろうか、と私は考え 為などについて考え直し、 切りで自分の志、平素の行 だければありがたい所存で というものについて考える までも読者の諸兄が卒業式 ときの参考程度にしていた たしてどうような意味があ でも私の考えであり、あく てみる。これ以降はあくま 第一に、卒業式という区

の区切りをつけることは果

がなである。 ものであることは言わずり さて、卒業式という一つ

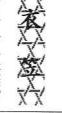
できる。そして自分と同じ

称たな光を見ることが

でもそれを知った人は 悪常と呼ぶかもしれな はある種の哀しみであ

に人を慈しむことがで

というものを授与されたこ なものではなく、心理的な とを覚えている。もちろん、 えば相当なものであったこ とが無いが、その重みとい この場合の重みとは物理的



そして、第三は今後の自分 は、れは大きな点であろう。

全員に共通するという点で

ることができなかったが、 の用事があった私は参加す 去 に関して考えてみよう を機会に卒業式という れた。遺憾なことに他 3 月十日、卒業式が たな道を作り出していこう 考え直すだけではなく、 に関する何らかの指針にな の行いをさらに遠距離的に ある。第一点に関して、そ るのではないかという点で とたとでもいうのだろうか。

を果たしたとみなされ、次 の段階へと進むときに通る へってきたことを具体 である。卒業証書は自

は考えて止まない。 りえるだけのものだと、

共感を示してくれる読者が らうが、この文章に何らか いたら幸いである。 ここで締めくくらせても 程では自分の浅はかさを思

狭い既成概念にとらわれて い知らされる連続であり、 が。何であれ、勉強する過

も上手に説明できないのだ

り前の前提である)。どう

意味ではない(それは当た 沢山勉強して・・・と言う 等学校の担任、大学で多く と覚えている。そして、高

の先生方に私がして頂いた

は高校2年生の頃であった

り意識するようになったの な気がする。かなりはっき 生の頃から思っていたよう

もあってか漠然とは中学

のと同じ様に生徒諸君に接

ればよいと考えをきめ、

勉強は最高の娯楽」 副校長 哲哉

学校の数学教師になりたい C思ったのは、 父親が高校 職を持っていたことの影 振り返ってみれば、 る。

ガラスが割れないようにと 割れたりしたら危険である。 通る玄関口のガラスがもし ろうか。多くの生徒が毎日 が諸君は気づいているであ う。実はこれが、ちょっと んでいるのはご存じであろ スに衝突防止のためのデザ を一つ。生徒昇降口のガラ 面目な話は私には似合わな インとしてに数字が沢山並 した洒落になっているのだ でもやっぱり、こんな真 洛星の校舎に関する話



かったと考えている。恩師 そう過ごしてきて間違いな

に感謝する以外にはない。

という疑問について、余り

面目に勉強をしてこなかっ

しなければならないのか」

ところで、「何故勉強を

洛星を去るにあたって 社会科 三浦 弘勝

お話しをしてみたい。「勉 た私が今到達している答の

思うこと

娯楽である」というのが第 強は人類の発明した最高の

の答である。数学を考え

学問する喜びの深さは想像

私でさえそう思うのだから、 はど勉強をしてこなかった 楽に譬えた人もいる。それ ることの虜になることを麻

に難くない。

もう一つ、

「人生の節目

いう時のことを言うのだな く承知するというのはこう とは程遠い北海道で育って 特別なのです。ましてや雅 都や奈良を含む関西の地は のにとって、洛星のある京 **す。日本史を学んできたも** 事をしたことを思い出しま しくお願いします。」と返 と思いながら「はい、よろ 上がったとき、一も二もな 洛星で勤務する話が持ち 偏っている感ばありますがね。 となんだ」と。少し観光に 渡月橋の上から眺めたとき、

てるために」だと考えてい

決断すべき事

での大きな決断に責任を持

竹について関連する事項を

も新鮮なまま心の中にあり 実感したときの興奮は今で 京都に住んでいることを この課題には寺社巡りを通 の力作が集まりましたが

諸君が歴史を勉強す

と悟らされる繰り返しであ いては全体像を見渡せない だがいかがであろう。だか とは同質のものだと思うの 姿勢と、未知の物への決断 と言い換えても良い。 学問の前に謙虚である 「謙虚になれるから」 を諸君へのメッセージとし かし軽やかに』こんな台詞 いるのである。 の思いを込めて、

感 国語科 無量

方々にご迷惑をかけました。 役引退を無事に迎えられる はいろいろありますが、何 る時がやって来ました。現 か見当がつかず、新聞局の をどう短くまとめたらいい のは、この上ない幸せです。 この紙面でも語りたいこと 今一番胸中を去来するの とうとう教員生活を終え

芳寺の苔を見に行ったり ます。夕立が上がった後、 は、たくさんの人の心に触 と(現在は有りません) もう近鉄特急の座席に座っ せる人気の店が紹介される 子の油炒めと麦飯を食べさ 民家をそのまま利用して茄 で、奈良国立博物館の前に、 ることが出来た。)テレビ 急いで嵐電に飛び乗って西 (当時はまだ自由に拝観す 戻ってくることが出来るの した。

巡りのレポートを課してい 休みの宿題として京都寺社 クラス写真を撮った場所を 修学旅行で来たとき嵐山で ていたとか、また、高2の たことがあります。かなり 「これが京都に住むってこ かつて、M1の諸君に夏 に、暴力と借金で縛られたることはなく、鉄道の敷設 拓いた囚人の存在は語られ するために通ってきた道を れても、その屯田兵が入植 タコ部屋労働の歴史があり その一つに北海道の囚人・ れたことに感謝しています。 蒙され、学ぶ機会が与えら 方や生徒諸君と出会い、啓 場で多くの優れた教職員の あるのですが、洛星という るにあたって思っとは多々 屯田兵の歴史は語ら

れない数(素数)が並んで 『深い思いを抱いて、 絶対に割 年、 です。授業をしたのは30学れて歩んできたという感慨 思い出いっぱいです。 担任したのは12学年

何かを話していました。後 会なのだと思い込み、毎日 漢文も担当しました。 最初独善を恥じました。 11期の のSHRはメッセージの機 ました。12期の高一 C組の れました。汗すること十斗。 ていたのに気づかなかった 言葉が生徒諸君の頭上を滑っ 担任を命じられました。朝 15期の中一の「国語乙」も 极書して、すぐに突っ込ま の時間、唐の詩の説明で した」と聞かされ、自分の 『近体詩』を『近代詩』と 最初の年は3学年を持ち 「あの寺井節には閉口

寺井 で

治夫

もちょっと薄暗い大部屋に 年の私はドアを開けた所に に細長い職員室があり、

間始めに『星の王子様』を るときいかに恵まれた環境 すが、教科の都合でこの学 という願いもこもっていま たまって、一月からは毎時 五百年前に時間旅行をして 内に五百年、いや千年、千 関西に住む諸君はその日の にあるのか気づいて欲し いには独特のものがありま 読みました。中一との出会 飛鳥の遠足しもそうです。 「奈良校外授業」や

さて、いよいよ洛星を去

担当しました。口語文法は くできません。ストレスが 教える側でもそうおもしろ が「地下道」でした。 十数年前まで西校舎一

その歴史の勉強にのめりこ のです。そのことを教えて 先生から薦められた『常紋 とも多くは語られなかった タコ労働者が使用されたこ 山の中にいるんだぞ。 の祭りでした。諸君も宝の たこと等です。「そのころ ている)。家の隣の旅館が たと。現在「鎖塚」が建っ 近くに囚人が埋められてい 自分らがいつも通っていた くれたのは、先輩の数学の いたらな。」と思っても後 のことを教えてくれる人が タコ労働者の中継場所だっ 道が囚人の開拓したもので、 なことが見えてきました。 んでいきましたが、いろん いう本でした。以後、私も トンネル』(小池喜孝)

づくり」の授業と「火起し」 の授業が出来たことです。 もう一つは、

ミントンは様々なスポーツ

3

4

5

6

5

8

7

でお会いしましょう(?) では、また今度は新入生号

第二世代型启長代理)

9

5

2

8

6

の中でも運動量の激しさか

今はもう見られません。 まいました。 われた時、つい涙ぐんでし 年は持ち上がれないよと言 のたたずまいが一番ですが、 があります。旧校舎の廊下 斯に胸に刻まれた 「場所」 41年間の「洛星生活」

思い出があります。洛星の 回、せっせせっせと通りま 日通りましたが、それは別 かつて高三を担任すると毎 が私の教師としての一つの として、毎年文化祭の時期 象徴であり、文化祭の象徴 ことのなかった文化祭活動 **機擬店でも。一年も欠かす 演劇でも合唱でも展示でも** つもいくつももらいました。 心情に感激する幸せをいく 青年たちの知性や心意気や 义化祭には最も多くの熱い は大講堂へ行く地下道です になると、何十回、 とた。主に演劇のためです。 百何十 私はここに到達できたので り、先生方を含めてたくさ ることができません。 はなく、深さや密度でも量 とは量ることができないこ ません。感無量です。 とですが、数の多さだけで 君のことを懐かしく思い出 どうという訳でもないので 方には見えません。それが して、この文章を結びます。 んの人たちに支えられて、 しょうが、私にはそこで話 見えても、生徒の姿は先生 し合ったたくさんの生徒諸 します。 本当に話し出すと止まり 皆さんに感謝の意を表

か住む場所がないし、しか いました。私には大部屋し 語科が西端に位置して最若

ありがとうございました。

ミントン部について、バド 段々に、作品がロッカーの 業でした。不器用な私もこ として再開出来なかった点 がった自分の作品を愛でて 参加した生徒諸君もできあ ようになりました。授業に ことにある程度の自信を持 です。この授業は、 は残念だったと思います。 大事にしました。しかし、 太さで伸ばすことが出来る なくとも粘土の紐を均等な てるようになりました。少 の授業を通じてものを造る 技術の先生たちとの共同授 工夫を考えようというもの 験して縄文人の生活や知恵・ なったため、考え直すことに 上や靴箱の中で置きっぱな しする諸君も目立つように 最後に顧問を務めたバド 結局、全員参加の授業 美術や

机の左(ドア寄り)に肩ぐ 余り人が住み着かないので、 気の屈する時には椅子を少 小さな密室を持ちました。 ともなりました。私の姿は 徒と面談するに格好の場所 やりできました。また、生 らいの高さの本棚を置いて しずらして本棚の前でぼん 保健体育科

宮崎

やは ランニング、腕立、スクワッ その初心に基づき授業では 君を真黒な秀才に変えて見 体育の時もとても喜んで参 皆とてもスポーツが好きで 洛星は進学校と言いながら、 を育てる事になりました。 ブールで、4月~10月まで きた大講堂で、 テニスコートのあった場所 加してくれた事は私にとっ トをやり続け、クラブでは 新任紹介のとき、 十二コースのプールが今の 人として私が赴任しました。 に新設され、水泳のできる せます」と初心を表明 昭和四十一年に今は無き まさに真黒な水泳部 「色白の諸

クラブ活動もとても盛んで、 いろいろなクラブが京都で て、とても幸せな事でした。

苦しい練習にも一生懸命泳 た。ことに私の担当した水 近畿でと活躍してくれまし が部は大変厳しい環境の中、

た。現在の部員諸君も同様 り、そして歴代の主将を中 の顧問の先生や諸先輩が工 ではと思ったことと思いま が求められます。当然トレー 言えます。長距離走のスタ ら言うと、トップクラスと 伝統を受け継いで下さい の時代の部員諸君がいまし 心に努力してきたそれぞれ 夫し、伝えてきたトレーニ てクラブのレベルを維持し がらも多くの諸君は頑張っ 入部した諸君はこんなはず トンもどきをイメージして ミナと短距離走のスピード ングや練習方法、環境があ てきました。そこには代々 ばたで遊んでいるパドミン のをしますから、公園や道 ニングもそれに見合ったも に互いに切磋琢磨しながら しかし、思惑が外れな

3

9

8

2

6 3

5

8

4

7

2

8

7 テ9列、 3 コ9列のそれぞれの列に、

マスの9個のブロッ{ 3 での数字が必ず

周 いでくれて、多くの成果を

夢も実現、常に生活の

生号。途中、風邪を引いたり

やっと完成しました卒業

所為で会うことができなかっ 先生のいる場所を間違えた **児橋データをかっ飛ばしたり** ルができたらいいなぁ

いつも部員達と室内

編集後記

を語り合ってきました。

変身!!

の中で苦しい練習をしてい トも頂きました。寒さ暑さ

ご理解を頂き悔いのない活 ルが立派な室内プールへと か・・・・。 気がつけば屋外プー そと、今ここに感謝の念で 合宿、試合、遠征と全てに クアップしてくれ、練習、 活動に、学校が全面的にバッ たい事への理解があってこ 残す事ができました。その 動ができたのは学校のやり 杯です。そして四十一年 自分が何をしてきたの

こんな素晴らしいプレゼン またまた学校の大理解で

その のは体力なのです。日頃よ りの中から長い集中力を養 事な事と思いました。 じ皆さんに言いたい事 夢を持ち続けるのも大 いっぱい体を動かし、 ベルを持っています。 た、授業を通じクラブ

ありがとうございました。 て下さい。四十一年間 をつけて、体力的ねば 皆さんはとても高い知 知的な部分を引き出す り越えてここに発刊できたこ とに心より安堵しています。 けた関係者各位と先生方に深 また、迷惑その他諸々をか ありましたが、なんとか乗 たりなどなど多彩な困難が

おきたいことがあります。 現在、新聞局では新たな

く感謝といと思います。

先ほども書きましたように ラム(?)衣笠に関して、 た卒業生号ですが、今回の 局員のほとんどが風邪で倒 る時間を費やしてしまいま 作成する部分であったため、 作成において大変なことが した。もう一点は、途中、 原稿が上がるまでに多大な 数点ありました。まず、 これは現在の局員が初めて さて、みごと完成しまし

た。色々とごめんなさい。 まの遅れを発きせる手だっ たが、ここで一つ宣伝して か、ともかくそんな感じでし さずがに打つ手が無くこれ た原因となってしまいま~ れてしまったこと。これには 謝罪というか言い訳という

まいません。入局(?) 特に必要な技術はありません もあり、将来的には新聞局自 業と友に中学校における新 ん。それは即ち、我々の卒 れるほかには局員がいませ くと先輩が時折手伝ってく 五三期の編集メンバーを除 局員を募集しています。我々 い。きっと、喜んで入部届 先生に相談してみてくださ 顧問である荻野先生か子安 してみたいとと思う方は、 し、最初は面白半分でもか 体の存しがかかっています。 聞局が消滅してしま?とで 印を押しているはずです。 長文長々と失礼しました。